

「伊崎田学園の伊崎田相撲伝承活動の取組」

1 学校名

伊崎田学園 志布志市立伊崎田小学校，志布志市立伊崎田中学校

2 学年・人数

全校児童 85名，全校生徒 37名

3 場所・日時

(1) 練習の場所・日時

校内相撲教室 伊崎田小学校 相撲場 令和元年10月12日

(2) 発表の場所・日時

第111回伊崎田相撲大会 伊崎田小学校 相撲場 令和元年10月20日

4 伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能，伝統行事や史跡について

(1) 名称

伊崎田相撲大会

(2) 由来

伊崎田相撲は，昭和41年に発布された戊申詔書の精神に沿い，その翌年から在郷軍人らを中心に始められた。以来，第二次世界大戦中の1～2年をのぞき，絶えることなく伝統行事として続けられてきた。現在は，五穀豊穰・家内安全・地域の融和親睦が目的である。

(3) 構成等

ア 校内相撲教室

- ・ 地域の方を講師に，全校児童を対象に相撲教室を開催し，相撲のルールやマナーについて学習を行う。（土曜授業）

イ 伊崎田相撲大会

- ・ 小学生は全校児童が相撲の取組を行う。
- ・ 中学生は全学年男子が相撲の取組を行う。中学3年生の化粧まわしを全校生徒で作成する。
- ・ 希望する赤ちゃんが土俵入りを行う。
- ・ 一般の方が相撲の取組を行う。

5 保存会や地域との連携の具体

- 管理職による伊崎田相撲実行委員会への出席と打合せ
- 創意や総合的な学習の時間の相撲教室の開催と講師（地域の伊崎田相撲経験者）の招へい

6 文化財伝承・活用の取組の工夫した点

- 校区の方に指導していただき、相撲教室を開催し、校区の伝統的な行事について学ぶ機会としている。
- 伊崎田相撲当日は、まわしの締め方等校区の方に指導していただき、相撲の取組を行っている。

7 取組の様子（練習状況、発表の場等の写真）



（相撲教室の様子）



（伊崎田相撲の様子）



（中学3年生の化粧まわし土俵入り）

8 参加児童生徒・保護者・保存会・教員等の感想

【児童】

- ・ 111回も続いていて、自分たちもその伝統を続けることができているのでうれしい。
- ・ 今年もたくさんの人たちが応援してくれたのでうれしい。
- ・ 3人抜きもあったので、何度も相撲をとることができたのでうれしかった。

【保護者】

- ・ どの学年も一生懸命に相撲をとる姿を見ていると気持ちがいい。
- ・ 111回という伊崎田相撲に誇りを感じる。いつまでも続けてほしい。
- ・ 毎年子どもたちが元気よく相撲をとる姿を見ていると、とても元気がでる。

【保存会】

- ・ 伝統ある大会なので守り継いでいきたい。
- ・ 今年は令和初の記念すべき大会だったこともあり、赤ちゃん土俵入りの参加者も多く、大変活気があった。小学生の取組での応援も多かった。

【教職員】

- ・ 児童にとって学校教育だけでは味わえない貴重な体験であり、伊崎田相撲を体験するたびに成長していくのを感じる。今後も大切にしていきたい。
- ・ 伝統ある行事が続いていることは素晴らしい。学校としても関わりを続けていきたい。